

『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』 『ターゲットと指標』 授業での活用事例 中学校編 (2022年-2023年)

総合

- P2・・・札幌市立星友館中学校 対象：全学年
校外学習事前学習（SDGs わたしたちの暮らしと課題）
- P4・・・すさみ町立周参見中学校 対象：1・3年生
ふるさと学習、ふるさとを知る
- P6・・・米沢市立第六中学校 対象：1年生
住んでいる地域の未来を考えよう
- P8・・・和歌山県田辺市立新庄中学校 対象：3年生
新庄未来学
- P9・・・糸魚川市立能生中学校 対象：1年生
新聞をSDGs軸で読むと自分ごとが世界とつながる！
SDGs・新聞記事ワークショップ
- P11・・・開智望中等教育学校 対象：1年生
奉仕活動～フィールドワークでの学びとSDGs～
- P12・・・広島市立日浦中学校 対象：1年生
SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。
- P14・・・札幌市立星友館中学校 対象：全学年
校外学習事前学習（SDGs わたしたちの暮らしと課題）
- P17・・・松原市立松原第五中学校 対象：全学年
キャリア教育プログラム「五中EXPO2023」

総合／国語

- P20・・・富山学園 南房総市立富山中学校 対象：2年生
南房総市の自然環境を未来の世代につなごう

総合／探究

- P22・・・横浜創英中学校 対象：全学年
尾瀬SDGs探究スタディーツアー

国語

- P25・・横浜市立洋光台第二中学校 対象：2年生
地球の「未来」を考える
- P27・・横浜市立洋光台第二中学校 対象：3年生
説得力のある構成を考えよう。

社会

- P29・・久喜市立鷺宮中学校 対象：1年生
すべての人に健康と福祉を「アフリカ州」
- P32・・専修大学松戸中学校 対象：1年生
世界の諸地域学習 旅行計画をつくろう（班発表）

英語

- P34・・佐賀大学教育学部附属中学校 対象：1年生
My SDGs

特別活動

- P36・・京都共栄学園中学校 対象：1年生
17のゴールについて考えよう

学級活動

- P38・・防府市立大道中学校 対象：1年生
SDGsと学校生活 そして家庭へ、地域へ

生徒会活動

- P42・・北杜市立 白州中学校 対象：全学年
生徒会委員会活動

特別支援学校

道徳

- P43・・東京都立八王子東特別支援学校 対象：3年生
SDGsについて知ろう！

校外学習事前学習(SDGs わたしたちの暮らしと課題)

学校名:札幌市立星友館中学校 名前:芳村 ひとみ、信田麻紀子

対象	全学年	単元名
科目	総合的な学習の時間	校外学習(定山溪ダム・さっぽろ湖)に向けての事前学習として
時間	3時間	目標
参考資料	アイデアブック等	その1 ダム見学を通して、その仕組みや働き、水資源の重要性を学ぶとともに、水資源を取り巻く世界の状況や課題について知り、環境に対する意識を高める。 その2 『SDGs』について、どんな目的でつくられたものなのかを知り、世界の様々な問題について意識を高める。 その3 日本や世界のプラスチックゴミに関する現状を知り、プラスチックゴミが環境にどのような影響を与えているのか理解する。

期待できる学習効果

- ・その1 水資源の重要性と世界の水に関わる課題について知り、環境に対する意識が高まる。
- ・その2 『SDGs』とは何かを学び、世界の様々な問題についての意識が高まる
- ・その3 プラスチックゴミに関する現状を知り、日常生活について振り返ることができる。

授業内容

1時間目 事前学習1

- ・ダム見学の事前学習として水資源の重要性を学ぶ。
タブレットを活用し、ダムの役割、水資源を取り巻く世界の状況や課題を調べる。

2時間目 事前学習2

- ・動画『SDGsって何だろう?』(学生向けバージョン)視聴
- ・資料『世界保健機関・国連児童基金「Global Water Supply and Sanitation Assessment 2000 Report」』からワークシートを作成
動画を視聴しSDGsについて知る。
タブレットを活用し、ダムや世界の水に関わる課題を調べる。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

3時間目 事前学習3

- ・動画『プラスチックゴミってどこへいくの?』(約4分)横浜市制作視聴
- ・資料 プラスチックゴミ削減のための「各国の対策一覧」
動画を視聴しプラスチックゴミに関する現状を知り、環境への影響を学ぶ。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

校外学習事前学習(SDGs わたしたちのくらしと課題)

学校名:札幌市立星友館中学校 名前:芳村 ひとみ、信田麻紀子

授業内容 2

○授業内容や授業のポイント

- ・環境学習において、身近な素材や話題を提供する。
- ・難解な言葉を使わず、取り組みやすい活動とする。
- ・自分のことに目をむけることから始め、視点を身の回りの地域や日本、世界へと拡大し、自分事として課題をとらえ、行動できるようになることを最終的な目標とする。

子どもたちの反応・感想

- ・主に事前学習のためのワークシート作成や授業内容を考える際に、担当者間で活用させていただいた。
- ・関心の高い内容について、生徒の調べ学習の参考となった。
- ・今後、ひらがな版やふりがな版があればより有効に活用できると思う。

「ふるさと学習」

学校名:すさみ町立周参見中学校

名前 : 小山浩生、谷口裕也

対象	第1・3学年	単元名	ふるさと学習
科目	総合的な学習の時間 特別活動	目標	その1 SDGsとは何かを知り、世界や日本の様々な課題を知る。 その2 ふるさとすさみ町について調べ学習をする。 その3 すさみ町の各分野での取組とSDGsとの関連について、各グループごとにまとめ発表し交流する。 その4 短学活等を活用し、新聞記事を切り抜きその記事とSDGsとの関連を他生徒に発表する取り組みを行った。
時間	20時間程度		
参考資料	SDGsアイデアブック 別冊 ターゲットと指標		

期待できる学習効果

- ・その1 SDGsとは何かを知り、2030年に向けた国際社会の取り組むべき問題について知ることができる。
- ・その2 自分たちの住むすさみ町の郷土や自然、産業や取組を調べることで、地域の良さを再認識したり、課題や問題点も認識させることができる。
- ・その3 ふるさとやSDGsについて、自分事として捉えさせることができる。また、協働してまとめ作業を行い、発表させることで、コミュニケーション能力やプレゼン能力の育成の効果も期待できる。
- ・その4 社会とSDGsとの関連を紐付けることができる。

授業内容

授業内容や授業のポイントなどを教えて下さい

- ・その1 SDGsアイデアブック別冊ターゲットと指標を活用し、SDGsとはなにか？17の目標と、それぞれが密接に絡み合っていること、国際社会が共通して目指している目標であること、誰一人取り残さないことが大切であること。また、様々な課題があり、世界の課題から日本へ、そして、すさみ町へと徐々に目を向けさせ、自分事として取り組むことが大切であることについて学習した。
- ・その2 自分たちの住むすさみ町について夏休みを利用して調べ学習をさせた。まず、役場職員から、良さと課題、SDGsへの取組等について講演をして頂いた。それを元に、各班ごとにテーマを決めさせ、聞き取り調査を実施した。テーマは、環境・海中ポスト・エビカニ水族館・熊野古道・祭り・ホテルの6つ。
- ・その3 それぞれの班ごとに、すさみ町の良さ、課題や改善点、SDGsのどの目標に関連しているのか、また、達成度や課題について、模造紙にまとめさせた。また、写真や要点をパワーポイントにまとめ、学習発表会でプレゼンを行った。
- ・その4 教室に1紙置くようにすることで、新聞を手にする機会を作り、同時に社会情勢にも関心を持たせることができる。まとめとして、SDGsコラムを作成させる。

「ふるさとを知る」

学校名:すさみ町立周参見中学校

名前:小山浩生、谷口裕也

授業・まとめの様子

- ①テーマごとに模造紙にまとめ体育館に展示した
- ②テーマごとに学習発表会でプレゼンを行った
- ③学級で発表後SDGs新聞として教室掲示した
- ④ペットボトルキャップを
JA婦人部へ寄贈



子どもたちの反応・感想

- ・SDGsについて学習し、世界には自分たちと同じ世代の子ともたちが抱えている多くの問題があるということについて知ることができた。そして、そこから、自分たちにどんなことができるのかを考えるために、まずは、自分たちのふるさとすさみ町について知るためにこの学習をするのだということが分かりました。
- ・すさみ町には、素晴らしい環境や資源・伝統がたくさん残されている。これらを受け継いでいつまでも守り続けたいと思います。
- ・すさみ町内でも、役場や農協いろんなところでSDGsに関連した取り組みを行っていることが分かった。僕も町民の一人として、いろいろ考えて行動していきたいと思った。
- ・新聞を読んでいると多くの記事が、SDGsと関係していることが分かった。自分たちも、もっともっといろんなことができると思った。でも、なかなか取り組むのが難しく、大きな問題を抱えていることあるとも思った。

住んでいる地域の未来を考えよう

学校名: 米沢市立第六中学校 名前: 後藤幸恵

対象	1学年	単元名
科目	総合的な学習の時間	住んでいる地域の未来を考えよう
時間	30時間	目標
参考資料	SDGsアイデアブック	その1 ◎郷土について自ら学習し、自分で地域に対して働きかけることができる。 その2 ◎自分たちの表現力を高め、全校・地域に発信する力をつける。 その3 ◎地域の自然や歴史、文化、体験や人との交流を通じて、自分の生き方を考える。

期待できる学習効果

- ・その1 地域の魅力や課題を知り、発展させるための工夫や解決策を考えることができる。(課題設定力・問題解決力・探究力)
- ・その2 SDGsとのつながりを見つけ、広い視野で物事を考えることができる。
- ・その3 情報を整理し、発信する力をつけることができる。(プレゼンテーション力・表現力)

授業内容

- ①SDGsについて知ろう
 - ・本(SDGsアイデアブック)を読み、目標に関心を持つ。
 - ・関心のある順に並べ、理由をまとめる。(グループ)
 - ・とても関心がある中から目標を一つ選び、自分たちができる取り組みを考える。(グループ)
- ②学区の魅力を紹介しよう(プレゼンする力、表現力)
 - ・自然や歴史、文化などをスライドで紹介する。
 - ・SDGsとのつながりを見つける。
- ③地域の魅力や課題を知り、発展させるための工夫や解決案などを考えよう(課題設定力、問題解決力、プレゼンする力、表現力)
 - ・地域(見学地中心)の現状と課題について知る。(市政策企画課)
 - ・①自然、②歴史、③食文化、(産物)、(伝統)などについて調べる。(地域巡り)
 - ・SDGsとのつながりを見つける。(地域巡り)
 - ・発展させるための工夫や課題の解決案などを考える。(今後も持続していくためのアイデアを考える。)
 - ・スライドでまとめ、発表する。(学区の小学6年生とオンラインでつないで発表・意見交換)
- ④先進国と途上国の格差について知り、国際理解を深めよう(貿易ゲーム)(問題解決力、コミュニケーション力)
 - ・SDGs10: 人も国の不平等をなくそうに焦点を当て、貧困問題について考える。
- ⑤自然と人間の関わり合いや生物多様性について学ぼう(県立自然博物館)(観察力、実践力)
 - ・SDGs16: 陸の豊かさを守ろうに焦点を当て、自然体験学習を行う。

住んでいる地域の未来を考えよう

学校名: 米沢市立第六中学校 名前: 後藤幸恵

授業内容2

- ①SDGsについて知ろう
・ピラミットチャートを活用し、可視化。
- ②学区の魅力を紹介しよう
・出身小学校ごとにスライド作成。
- ③地域の魅力や課題を知り、発展させるための工夫や解決案などを考えよう
・少人数グループで地域巡りを行い、地域の魅力や課題を知る。
・SDGsと関連させてスライド作成。
・学区の小学6年生とオンラインでつないで発表・意見交換。
- ④先進国と途上国の格差について知り、国際理解を深めよう(貿易ゲーム)
・貧困問題について考え、自分のこれからの生き方について考える。
・認定NPO法人「IVY」からの協力
- ⑤自然と人間の関わり合いや生物多様性について学ぼう(県立自然博物館)
・自然体験学習を行い、自然を守るためにできることについて考える。
- ⑥学習のまとめをしよう
・個人でふりかえりをする。(学びの整理・自分のこれからの生き方について考える。)



子どもたちの反応・感想

<生徒の感想より>

- ・地域巡りや貿易ゲーム、自然体験学習などを通して、SDGsとの関連や私たちにできることについて考えることができた。
- ・森の自然や資源を守っている博物館の存在を知り、改めて身近な自然の大切さがわかった。
- ・住んでいる地域が「SDGs未来都市」に選定されていて、「経済・社会・環境」のバランスを保ちながら、市民が暮らしやすいように課題を解決しながら取り組んでいることを知った。
- ・未来や現在の物事に目を向けることができた。小さなことからできることを実践していきたい。
- ・森を守り、環境破壊を防ぐためにも、ポイ捨てをしない、リサイクルをするなど、できることに取り組んできたい。節水・節電も意識して生活していきたい。
- ・地域の現状だけでなく、世界の現状まで目を向けることができた。不平等のない社会を目指していきたい。
- ・貿易ゲームでは、世界で起こっている途上国と先進国の格差をゲームを通して体験することができた。
- ・学区の小学生に発表したことで、地域の魅力や課題について共に考えることができた。

<生徒の様子>

身近な地域から世界まで視野を広げ、SDGsの視点で物事を見つめることができた。自分たちにできることは微力でも、価値のあることだということに気づくことができた。

新庄未来学

学校名:和歌山県田辺市立新庄中学校 名前:田淵 優

対象	第3学年	単元名	新庄未来学
科目	総合	目標	「2030年の新庄、田辺、そして日本、世界をどんな世の中にしたいか」をテーマに、中学生の視点で、現代社会の問題点、課題を探し、それを解決していくには、どんなことができるか、どんな方法があるのかを考え、実践していく。
時間	03時間		
参考資料	未来を変える目標 SDG'sアイデアブック等		

期待できる学習効果

SDGsについて学び、私たちにできる持続可能な取り組みを行うことで、SDGsを自分事として捉え、未来のために行動できる当事者となることが期待できる。また、その活動を広めていける人材を育てられる。

授業内容

1年間の取組

1学期

①「SDGs(持続可能な開発目標)とは何だろう」

西田拓大先生(白浜第二小校長:SDGs for School認定Educator)を招き、ボードゲームなどを通して、SDGsとは何かを学んだ。

②「世界の課題を、SDGsを通して見てみよう」

世界中にある課題を解決するには、SDGsのどの目標を達成するとよいか考えた。世界の課題を発表し合い、世界の現状を確認した。

2学期

③「世界の課題解決の取り組みを調べよう」

世界の課題を知り、解決のために世界がどのような動きをしているのかを調べた。臼井達也さん(NPO法人わかやま環境ネットワーク事務局長)と西田拓大先生を招き、海にまつわる取組を紹介していただきこれからの取組について考えた。

④「身近でできるSDGsの取り組みを実践しよう」

8班に分かれて、それぞれが考えたSDGsアクションを実践した。

⑤「新庄未来学 発表会」

各班で取り組んだ内容を全校で共有した。私たちにできることがたくさんあることを知った。

3学期

⑥「未来学の活動を冊子、ポスターにして地域に発信」

より多くの人にSDGsについて知ってもらいたい、行動してもらいたいという思いを込めて活動をまとめた冊子、ポスターを作成した。

子どもたちの反応・感想

まとめの冊子とポスター。

QRコードより閲覧できます。まとめの冊子 →



ポスター →



新聞をSDGs軸で読むと自分ごとが世界とつながる！SDGs・新聞記事ワークショップ

学校名：糸魚川市立能生中学校 名前：八木ゆかり

対象	1学年	単元名
科目	総合	SDGs・新聞記事ワークショップ
時間	1時間	目標
参考資料	・中高生SDGsジャーナル 第3号 ・ターゲットと指標	SDGsの観点で記事を読み、思考を見える化する。

期待できる学習効果

- ・新聞を読むことで、世の中の動きに興味関心をもつ。
- ・SDGsの観点で読むことで、問題意識を高める。
- ・SDGsふせんに考えを書いて思考を見える化することで、多様な意見を共有できる。

授業内容

※本時は、1学年(2クラス・59名)を対象に実践した。

導入(5分)

全体指導(多目的室)

- ・活動の流れについての説明を聞く。
- ① 見出しから気になる新聞記事を選ぶ
- ② 17目標のどれに関連するか考えながら読んでみる
- ③ ふせんに「つぶやき」を書いてみる
- ④ 班長の新聞に「つぶやき」を貼りながら話し合う
- ⑤ 「つぶやき」の中から班員が1つずつ選んでSDGsふせんに書く
(できるだけSDGsの番号が重ならないように選ぶ)
- ⑥ 多目的室の新聞にSDGsふせんを貼る



展開(35分)

個人・グループ活動(教室)

- ・各教室に移動し、個人で次の内容を行う。
(15分)
- ① 見出しから気になる新聞記事を選ぶ
- ② 17目標のどれに関連するか考えながら読んでみる
- ③ ふせんに「つぶやき」を書いてみる



新聞をSDGs軸で読むと自分ごとが世界とつながる！SDGs・新聞記事ワークショップ

学校名：糸魚川市立能生中学校 名前：八木ゆかり

授業内容2

- ・グループで次の内容を行う。(20分)
- ④班長の新聞に「つぶやき」を貼りながら話し合う
- ⑤「つぶやき」の中から班員が1つずつ選んでSDGsふせんに書く
 - ※プラスのつぶやきは黒字
 - ※マイナスのつぶやきは赤字



まとめ(10分)

グループ活動(多目的室)

- ・グループで次の内容を行う。
- ⑥多目的室の新聞にSDGsふせんを貼る



子どもたちの反応・感想

- ・日ごろ新聞を読む機会がない生徒が多いので新聞を読むことに抵抗を示すかと心配していたが、興味深く読む生徒が多かった。
- ・新聞は全員に配布することができたため、活動後は持ち帰ることができた。「面白い」「もっとじっくり読みたい」と、しばらく朝読書で読んでいる生徒もいた。
- ・1つの記事で何枚ものSDGsふせんを貼る生徒がいた。多角的な視点で問題を捉えようとしている姿が見られた。(以下はその一例)

8
働きがいも
経済成長も

容器にアルミを
挟むことで賞味
期限を延ばせて
食品ロスにつな
がる

11
住み続けられるま
ちづくりを

アルミは
環境に良い
の？

13
気候変動に
具体的な
対策を

缶の加工をしや
すい機会を開発
すると缶のメリッ
トが増える

11
住み続けられるま
ちづくりを

これからのため
に石炭の使用を
軽減していて
よかった

7
エネルギーを
みんなにそして
クリーンに

石炭問題を解
決できていた
石炭関係の仕事
をしている人は
どうなのだろう？

パッケージに隠し技あり(2019/8/3)

村で洋上で、脱炭素へ英国加速(2021/12/12)

奉仕活動～フィールドワークでの学びとSDGs～

学校名:開智望中等教育学校 名前:大森美衣南

対象	中学1年生	単元名
科目	総合	奉仕活動～フィールドワークでの学びとSDGs～
時間	15時間	目標
参考資料	アイデアブック等	その1 フィールドワークで学んだことをSDGsの観点から整理する その2 SDGsと社会のニーズを意識した上で、奉仕活動の計画を立てる その3 地域と連携して、実際に奉仕活動を行う その4 計画と照らし合わせながら奉仕活動のリフレクションを行う

期待できる学習効果

- ・その1:SDGsを、人ごとではなく現実問題として生徒一人ひとりが捉えることができる
- ・その2:フィールドワークで学んだことと自分の生活する地域を、SDGsをキーワードに結びつけることができる
- ・その3:自分の生活する地域にはどのような問題があるのか理解し、それに対するニーズをしっかりと確認しながら自分たちができることを実践する

授業内容

今年度、中学1年生はフィールドワーク(宿泊学習)(以後FW)として愛知に向かいました。FWのテーマが「環境・芸術・まちづくり」であったこともあり、FWから帰ってきてから事後学習としてSDGsをキーワードに学習内容を整理、アウトプットに繋げていきました。

実際には、FWのメイン拠点となった名古屋と学校の所在している守谷市(つくばみらい市)をSDGsのそれぞれの観点から比較し、互いの良い点や改善点を洗い出すワークを行ったり、関心のある観点ごとにグループをつくって、地域で起きている問題や課題について考え、実際に地域にアポイントメントを取りながらニーズに見合った奉仕活動を行いました。

SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。

学校名: 広島市立日浦中学校 名前: 中山舞

対象	中学1年生	単元名	SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。
科目	総合的な学習の時間	目標	その1 班に分かれて、SDGsの目標について詳しく調べる。 その2 班の発表を聞いて、自分が個人的に興味をもったものについて 様々なリソースを活用し調べる。 その3 1年間SDGsに関する様々な外部講師からの話と自分たちが学んだ SDGsがどう繋がるかを考える。
時間	3時間		
参考資料	SDGsアイデアブック		

期待できる学習効果

- ・その1 一人ではなく、チームで協力して調べることで一つの目標について広く学習することができる。
- ・その2 様々な機関が発行するリーフレットやインターネットの情報などを取捨選択しながら、自分たちがほしい情報を探す力を身に着けることができる。
- ・その3 総合の時間だけでなく、横断的な学びを意識し、日常生活とSDGsは結びついていることに気づく機会を与える。

授業内容

授業内容や授業のポイントなどを教えて下さい

・授業の流れ

【1時間目】

SDGsの目標について、各班について説明できるように、各ゴールの内容について詳しく調べる。ゴールについて詳しく知るためにはそれぞれのゴールが掲げるターゲットが大切なので、生徒一人一人にアイデアブックを渡し、まずはターゲットの内容を一つ一つ理解することから始めた。

【2時間目】

各ゴールについて詳しく調べた内容を発表した。

【3時間目】

班の発表を聞いて、自分が興味をもった目標について詳しく調べた。

SDGsについて知り、自分の興味のある目標について詳しく調べる。

学校名: 広島市立日浦中学校 名前: 中山舞

授業内容2

【ポイント①】

今年度、本校は外部講師の方を呼び、SDGsに関する話を様々な角度から話を行っていただいた。話を聞いた後に、SDGsのどのゴールと結びつきがあるかについて話し合う機会を作るなど、非常に有意義な時間を作ることができた。

講師の方の一例

- ・電力会社で働く方々。
- ・土木関係で暮らしを支えてくださる方々。
- ・介護関係に従事している方。等

【ポイント②】

本校は、地域の方々から使用済みのアルミ缶を集めて、換金し地域に車いすを送る活動をしています。今年度は、3学年が自分たちのアルミ缶ボランティア(アルボラ)の取り組みを振り返り(成り立ちや活動状況を報告するなど)を全校に紹介しました。そのことを受け、1学年の生徒はアルボラの取り組みにどのような価値があるのか、4月に学習したことを踏まえて、SDGsの観点から考える機会を作ることができました。来年度も同様のことを1学年で行い、自分たちの日々の取り組みはSDGsの取り組みと結びついていることに気づいてほしいと思う。

子どもたちの反応・感想

一年間を通して学んだ感想。

- ・4月にSDGsのことについて調べ、1年間いろんな人がSDGsについて話をしてくれた。小学校の時とは違って自分で調べたことについてまとめて、発表することが大変だったけど、もっと知って、自分たちの学校が取り組んでいる活動も外の人に広めていきたいと思った。(男子生徒)
- ・土木現場の人たちの話を聞いて、普段自分たちの暮らしや住まいを支えている人たちがいるんだと知った。そこで働く人たちも自分たちがSDGsのために何ができるのか考えていることがわかった。(女子生徒)
- ・3年生がアルボラの活動がSDGsとどう繋がっているかを説明してくれた。自分たちの学校が、伝統として行っていることが、SDGsに貢献できていると思うとうれしかった。(女子生徒)

校外学習事前学習(SDGs わたしたちの暮らしと課題)

学校名: 札幌市立星友館中学校 名前: 芳村 ひとみ、信田麻紀子

対象	全学年	単元名	校外学習(定山溪ダム・さっぽろ湖)に向けての事前学習として
科目	総合的な学習の時間	目標	その1 ダム見学を通して、その仕組みや働き、水資源の重要性を学ぶとともに、水資源を取り巻く世界の状況や課題について知り、環境に対する意識を高める。 その2 『SDGs』について、どんな目的でつくられたものなのかを知り、世界の様々な問題について意識を高める。 その3 日本や世界のプラスチックゴミに関する現状を知り、プラスチックゴミが環境にどのような影響を与えているのか理解する。
時間	3時間		
参考資料	アイデアブック等		

期待できる学習効果

- ・その1 水資源の重要性と世界の水に関わる課題について知り、環境に対する意識が高まる。
- ・その2 『SDGs』とは何かを学び、世界の様々な問題についての意識が高まる
- ・その3 プラスチックゴミに関する現状を知り、日常生活について振り返ることができる。

授業内容

1時間目 事前学習1

- ・ダム見学の事前学習として水資源の重要性を学ぶ。
タブレットを活用し、ダムの役割、水資源を取り巻く世界の状況や課題を調べる。

2時間目 事前学習2

- ・動画『SDGsって何だろう?』(学生向けバージョン)視聴
- ・資料『世界保健機関・国連児童基金「Global Water Supply and Sanitation Assessment 2000 Report」』からワークシートを作成
動画を視聴しSDGsについて知る。
タブレットを活用し、ダムや世界の水に関わる課題を調べる。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

3時間目 事前学習3

- ・動画『プラスチックゴミってどこへいくの?』(約4分)横浜市制作視聴
- ・資料 プラスチックゴミ削減のための「各国の対策一覧」
動画を視聴しプラスチックゴミに関する現状を知り、環境への影響を学ぶ。
意見交換、ワークシートへの記入、振り返り。

校外学習事前学習(SDGs わたしたちのくらしと課題)

学校名:札幌市立星友館中学校 名前:芳村 ひとみ、信田麻紀子

授業内容2

○授業内容や授業のポイント

- ・環境学習において、身近な素材や話題を提供する。
- ・難解な言葉を使わず、取り組みやすい活動とする。
- ・自分のことに目をむけることから始め、視点を身の回りの地域や日本、世界へと拡大し、自分事として課題をとらえ、行動できるようになることを最終的な目標とする。

子どもたちの反応・感想

- ・主に事前学習のためのワークシート作成や授業内容を考える際に、担当者間で活用させていただいた。
- ・関心の高い内容について、生徒の調べ学習の参考となった。
- ・今後、ひらがな版やふりがな版があればより有効に活用できると思う。

キャリア教育プログラム「五中EXPO2023」

学校名: 松原市立松原第五中学校 名前: 高木 衛

対象	中1～3年	単元名
科目	総合	キャリア教育プログラム「五中EXPO2023」
時間	9	目標
参考資料	アイデアブック等	・「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己形成能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成 ・特に「課題解決能力」「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」 ・職業理解能力、キャリアプランニング能力の育成 ・学習成果の交流会(全学年交流会)を行うことで、互いに刺激し合い、前向きに物事に取り組む姿勢を養う

期待できる学習効果

- ・「探求学習」「課題解決学習」において、「正解のない問題」に協力して取り組むことで、課題を発見し、探求し解決策を探るといふ、主体的に課題に取り組む姿勢の向上
- ・多くの企業の方の協力を得ることで、将来のイメージを考え、前向きに学習に取り組む姿勢の向上
- ・協力して取り組むことで、互いの強みを生かしながら課題に向き合い取り組み続ける姿勢の向上
- ・コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上

授業内容

- ① 昨年の「五中EXPO2022」の振り返り
昨年度の取り組みを振り返り、先輩たちのプレゼンテーションを見返す
- ② 自分たちの「解決しようと思う課題」とその「ターゲット」を決定(「アイデアブックの活用」)
昨年度は「17のゴール」だけを意識、今年度は「169のターゲット」を意識
- ③ 自分たちのソリューションアイデアの検討
課題について探求し、解決案を考える
- ④ 市内の企業との交流プログラムで実際の取り組みを聞き交流を行う
市内にある複数の企業の方に来校していただき、それぞれの取り組みを教えていただく
- ⑤ アイデアのブラッシュアップ
交流を通して考えたことを自分たちのアイデアに活かし、ブラッシュアップさせる

キャリア教育プログラム「五中EXPO2023」

学校名:松原市立松原第五中学校 名前:高木衛

授業内容2

- ⑥企業の「SDGsオンライン交流プログラム」
既存のSDGsプログラムを活用
- ⑦アイデアのブラッシュアップ
プログラムを通じて考えたことを生かして、自分たちのアイデアをブラッシュアップする
- ⑧クラス発表会「クラスEXPO」
クラスごとに自分たちのアイデアをプレゼンテーションする
- ⑨全校発表会「五中EXPO2023」
全学年・全クラスの代表各1班によるプレゼンテーション大会を行う
これまでに関わっていただいた企業の方々にも参加していただく

子どもたちの反応・感想



学校名:松原市立松原第五中学校 名前:高木衛

The collage consists of nine photographs arranged in a 3x3 grid. The top row shows students in a classroom setting, with one photo showing a student presenting to a class. The middle row features students standing and presenting in front of a large screen displaying a map of Japan and Japanese text. The bottom row shows students sitting at desks, some looking at a screen, and others in a group setting. The photos capture various moments of a school event, likely a presentation or a competition.

⑦ 自分が思っていた以上に「**だったらいいな**」が取り組みを
を通して自分やみんなの中にあると気づき、それを
実現するためのアイデアを^{自分}考えることができました。
自分が「**だったらいいな**」と思ったことを大事にし、
次の世代を^{自分}任せられるようになりたい^{自分}と思います。
授業ではなく、^{自分}が主体で考えることも大事にしたいです。

[illegible]

④ 1年生はしっかり、2年生は細く、3年生は太くさ
れて考えられているなと感じました。そして、いま
自分のことを振り返りてみて、最初の「SDGe」で
は人を結てばかりだった、自分で行動するのが
きなかったと、積極的に動くことができなかたに
ただ、3年生での「SDGe」では、自分でアイデアを
出してみたり、自分にできることを積極的に取り組
みたので、成長でまだじゃないかなと思えました。これ
からは、「SDGe」のことをきて、自分にでき
ることを積極的にやってみてみたいなと感じした

例 低え方^{ひくえかた}を工夫したり、身近な^{きんじな}ことや身近な^{きんじな}数字^{すうじ}に働き
あえることが大切だと思いました。興味^{きょうみ}をもってもらう
ために、どのようにすればいいのかを^かえることが
大切だと思いました。



南房総市の自然環境を未来の世代につなごう

学校名: 富山学園 南房総市立富山中学校 名前: 篠原 準

対象	中学2年生	単元名	南房総市の自然環境を未来の世代につなごう
科目	総合的な学習の時間 国語科	目標	南房総市の自然環境と自然体験を通して、自然環境は人々の生活や地域の特徴と深くかかわっていることを理解し、持続可能な視点から多角的に自然環境の在り方について考えるとともに、自らの生活や行動にいかすことができるようにする。
時間	総合: 40時間 国語: 6時間		
参考資料	アイデアブック等		

期待できる学習効果

- ・その1 故郷について自分事として捉えることや、外部人材との協働により、地域の良さを再確認したり、課題等も認識させることができる。
- ・その2 協働してまとめの作業を行い、発表させることでコミュニケーション能力等の育成の効果も期待できる。
- ・その3 故郷への愛着を高め、誇りを持つことにつながる。

授業内容

総合的な学習の時間

- その1 地域の環境問題について、先輩の事例から学ぶ
- その2 SDGsアイデアブック等を活用し、日本・世界の状況を大まかに学ぶ
- その3 自然体験学習の実施
マリンアクティビティ
藻場再生活動(①アマモの種子選別、苗床づくり、育苗活動、②アオリイカの産卵床作成)
サバイバル宿泊学習(サバイバルの居炉刃、避難所運営体験)
森づくり(土壌改善作業、木の養生、木の伐採補助)
- その4 環境問題に関する講演会
(株式会社サラヤ、日本製鉄株式会社、千葉県水産事務所、
NPO法人千葉自然学校、NPO法人たてやま海辺の鑑定団)
- その5 体験活動、講演会での学びをさらに深めるために調べ学習を実施
- その6 テーマごとにタブレット端末を利用してプレゼンテーションを実施
- その7 プレ発表の成果と課題をまとめ、修正を行う
- その8 発表会には保護者をはじめ、地域の方、外部人材を招き、発表後にディスカッションを行う

南房総市の自然環境を未来の世代につなごう

学校名: 富山学園 南房総市立富山中学校 名前: 篠原 準

授業内容2

国語科:「福祉・人権に関わる問題について提言しよう」

- ・その1 教科書掲載作品を読み、福祉や人権、SDGsについて関心を高める
- ・その2 SDGsアイデアブック等を活用し、SDGsとはなにかさらに理解を深める
17の目標とそれぞれが密接に絡み合っていること
国際社会が共通して目指している目標であること
誰一人取り残さないことが大切であること。
- ・その3 SDGsをはじめ、福祉、人権、水、環境など、自分でテーマを決めて調べ学習を行う。
- ・その4 調べ学習を行ったものをもとにして、福祉・人権作文を書く
- ・その5 同質グループで作文を発表し合い、内容をさらに深める
- ・その6 学級全体でそれぞれの意見を発表し合い、地域への提言をまとめる

子どもたちの反応・感想

「総合的な学習の時間」

- ・多くの人が地域の自然環境のことを考えていることが分かった。地元の自然を大切にしたい。
- ・恵まれた自然環境が身近にあることが貴重だということがわかった。次世代へつなげることが課題だと思う。
- ・海の中の海藻がほとんどなくなって、磯焼けが広がっていることを実感した。藻場再生、森や川の整備に力を入れて、豊かな海と森を守っていきたい。
- ・アマモ苗床づくり・育苗では、繊細な作業が多く、発芽までの時間が長くかかることがわかった。アマモを植えたり、わからないことは調べたりして、藻場再生に向けて継続して取り組んでいきたい。

「国語科」

- ・人権や福祉についてテーマを決めて学習したが、他の人の話を聞くともっと理解を深めなければならぬことがあるとわかった。
- ・SDGsの達成まで残り数年しかなく、私たちができることに挑戦したいと思った。

尾瀬SDGs探究スタディーツアー

学校名: 横浜創英中学校 名前: 企画・運営 杉浦正吾(東京都市大学)

対象 中1～3

科目 総合探究

時間 5時間程度

参考資料

アイデアブック等

単元名

課外(夏期の総合探究)

目標

- その1 フィールドワークを通じてSDGs目標×地域課題を実感する
- その2 地域課題解決の具体的なアイデアを169ターゲットレベルで考える
- その3 自分の地元に戻って上記ノウハウを活かす

期待できる学習効果

フィールドワークや地域の方々との対話を通じて、SDGsの17目標と地域課題が繋がっていることを実感し、目標設定のためには定量的インディケータが大切だと学んだ上で、自分たちも関わることができるアイデア創出の体験を通じて「活動してこそ社会は変わる」ことを学ぶ。

授業内容

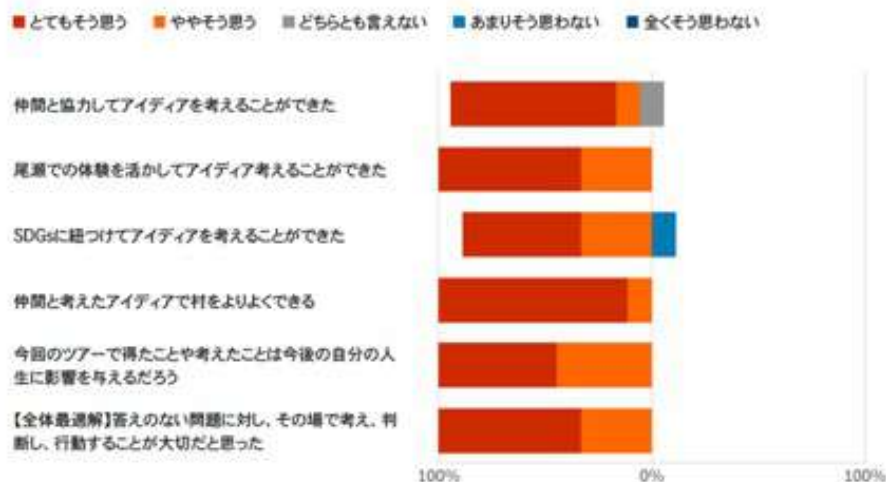
※別添資料をご覧ください



子どもたちの反応・感想

※アンケートより当教材関連箇所を抜粋

10. ツアー中に実施したミッションと、ツアー全体を通じて当てはまるものを、それぞれお答えください。



11. 「仲間と協力してアイデアを考えることができた」について、理由を詳しく教えてください。

8

応答

最新の回答

"班のみんなと意見を出せあえたから。"

"短時間でひとつの模造紙に沢山かけた。"

"2日目の夜は班の4人で真剣に取り組んだから"

12. 「尾瀬での体験を活かしてアイデア考えることができた」について、理由を詳しく教えてください。

8

応答

最新の回答

"バスの広告を考える時、自分が体験したことを元に考えたから。"

"たちそばをたべたり、人口密度を確認したりして、尾瀬に何を取り入れたらよ…"

"尾瀬の自然が良かったから(?)"

13. 「SDGsに紐づけてアイデアを考えることができた」について、理由を詳しく教えてください。

7

応答

最新の回答

"SDGsを中心にアイデアを考えたから。"

"人を増やす!!ってことがsdg'sに繋がったと思う"

14. 「仲間と考えたアイデアで村をよりよくできる」について、理由を詳しく教えてください。

8

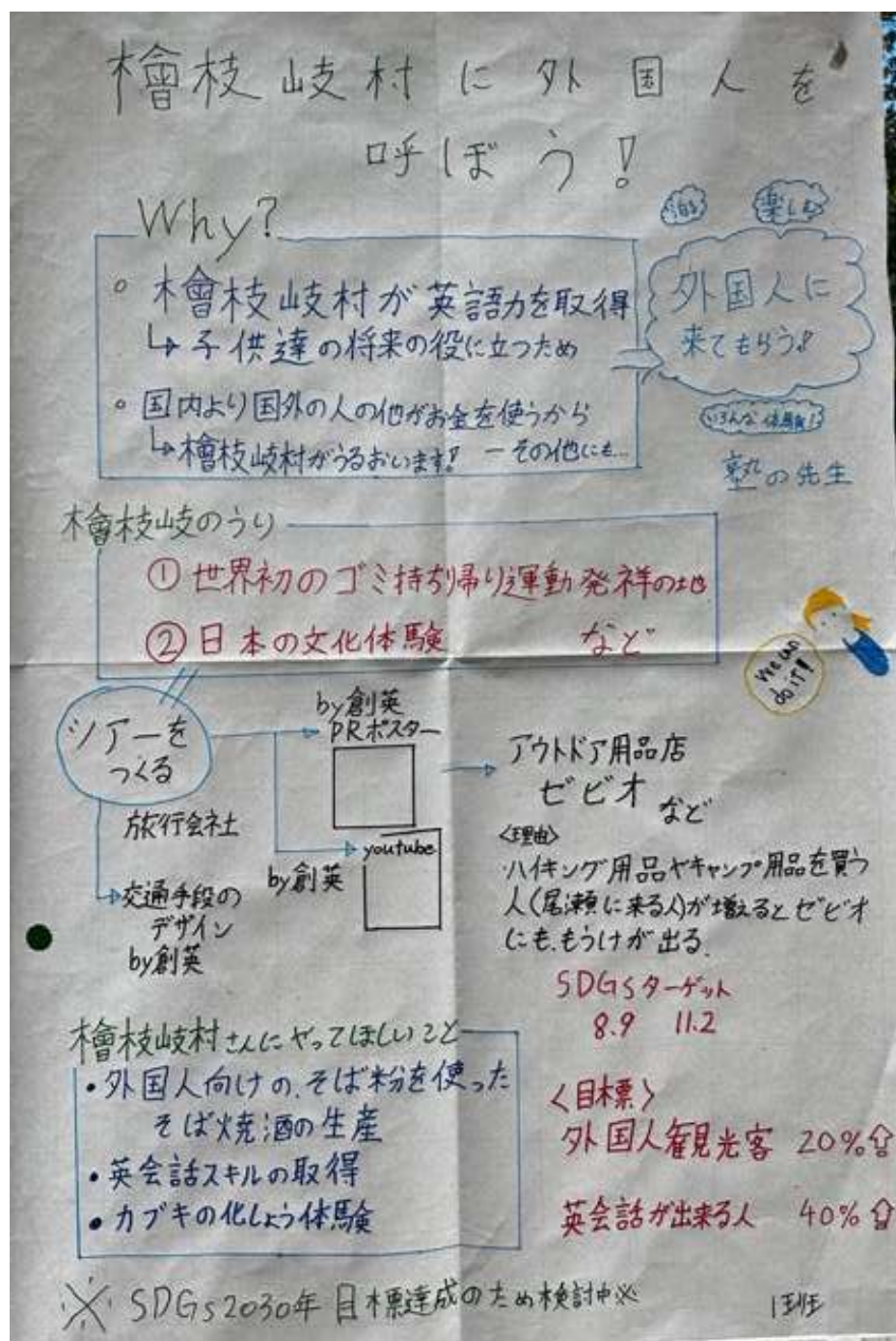
応答

最新の回答

"良いアイデアを出せたと思ったから。"

"SNSを使う考えは、自分ながらもいいと思いました。"

"できた!村の人に自分たちのアイデアを理解してもらえたのが嬉しかった"



地球の「未来」を考える

横浜市立洋光台第二中学校 関口 恵

対象 2年

科目 国語

時間 4時間展開

参考資料

アイデアブック等
別紙:ブックリスト

単元名

「モアイは語る―地球の未来」 光村図書出版 国語Ⅱ

目標

- * 意見を裏付けるための、適切な根拠の在り方について理解する。
- * 自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。

→ 筆者の考えを踏まえて、私たちにできることを考えてまとめよう

期待できる学習効果

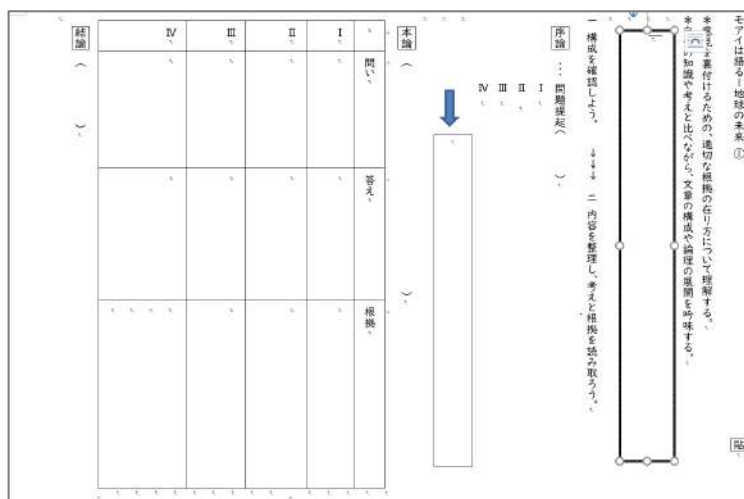
- ・文章を正確に読み取ることで、筆者の論理の展開の仕方を考える。
- ・論説文に書かれていることと、「世の中で起こっていること」や「解決策」を結び付けて考える。
- ・学習したことをもとに、自分自身の生活を振り返る。

授業内容

論説文の授業であったため、まずは語句の意味や筆者の考えを正確に読み取ることを目標とした。そのうえで、自分自身の考えを「もつ」ために、資料を活用し、自分の生活に結びつけて考えられるようにした。

- ①範読 段落分け 作品の構成の確認する
- ②読解 意見と根拠の関係を探る
- ③読解 筆者の考えの真意をつかむ
- ④表現 資料を参考に自分自身の考えをもつ → 書く

資料①

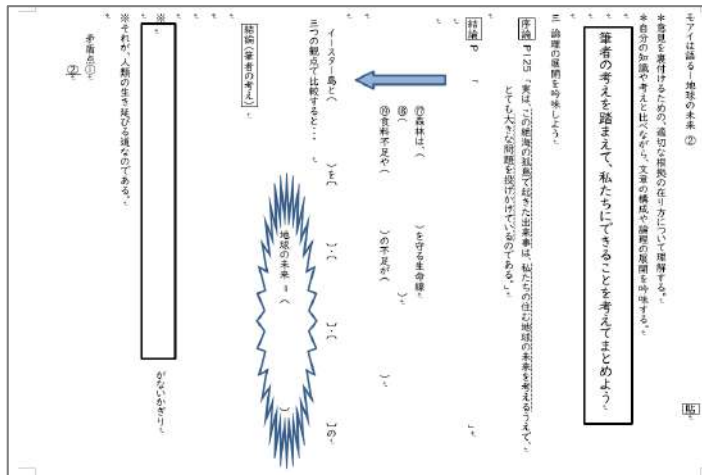


地球の「未来」を考える

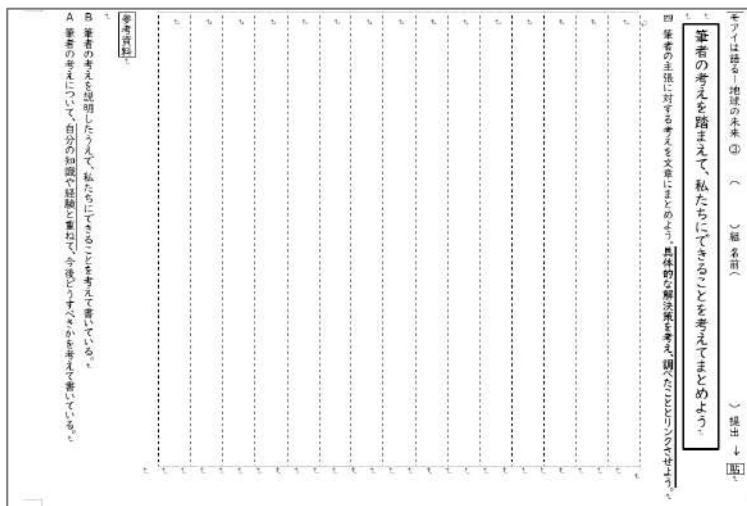
横浜市立洋光台第二中学校 関口 恵

授業内容2

資料②



資料③



子どもたちの反応・感想

教科書で学んだことが、実際の世の中とつながっているという感覚をもつことができた様子である。特に、作品の深読みをすることで、「野菜の工場栽培化」等の技術革新とつなげて考えることができた生徒もおり、資料とリンクして考えさせたことによる深まりが見て取れた。こちらの予想以上に、今の中学生は知らないことが多い。(知っていることに偏りがあるというべきか...)いまメディア等では流行のような取り上げられかたをしているSDGsだが、生徒自身が自分の生活と結び付けて考える機会をより多くもてるよう指導していく必要がある。それが学校現場で気軽にできるESDなのではないかと考えている。

説得力のある構成を考えよう。

横浜市立洋光台第二中学校 下釜梨乃

対象	3年	単元名
科目	国語	説得力のある構成を考えよう
時間	7時間	目標
参考資料	アイデアブック等	①根拠となる情報の信頼性を確かめる。 ②SDGsの17の目標から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成を工夫する。

期待できる学習効果

- ①主張と根拠が正しくつながっているか確認し、信頼性のある情報を選び取ることができる。
- ②より多くの知識や多面的な視点で物事を捉えられる。

授業内容

- ・「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマに、社会生活の中からSDGsに関連した話題を選ぶ。その際、マッピングを使い、アイデアを広げ、絞り、より興味関心のあることに気づかせる。
- ・オリジナルのワークシートを用いて順を追って原稿を作成するという道筋を示した。
- ・情報収集では学校図書館を利用し、紙資料とインターネット資料の両方が使えるようにした。SDGsアイデアBookなど、一人一冊手元において利用した。
- ・情報をまとめるときには出典を明記させ、情報の信ぴょう性や妥当性があるかどうか考えさせた。
- ・自らの主張と根拠がふさわしいか考え、説得力をもたせるために複数ある根拠の中から一番ふさわしいものを選んだ。
- ・原稿作成ののち、クラス内で発表をし、他の人の考えを聞くことでより広い知識や多面的な視点をもてるようにした。

説得力のある構成を考えよう

横浜市立洋光台第二中学校 下釜梨乃

授業内容2

参考図書

「未来を変える目標 SDGsアイデアブック」Think the Earth,2018
「未来を変える目標 SDGsアイデアブック別冊ターゲットと指標」Think the Earth,発行年記載なし
「SDGsスタートブック 2022年度版」Edu Town SDGsアライアンス,2022
「2030 SDGsで変える」2021年度版 朝日新聞社SDGsプロジェクト,2021
その他新聞記事、白書などを使用

子どもたちの反応・感想

- ・SDGsについて、ニュースや遠い世界の話ではなく、身近にあるものがテーマとつながっているということを理解した。
- ・調べたことをふまえて生徒自身が自分の考えを表現する際に、起きている問題や課題に向き合いさらに考えを深めることができる。

すべての人に健康と福祉を「アフリカ州」

学校名: 久喜市立鷺宮中学校 名前: 小野紗花

対象	1学年	単元名
科目	社会科	アフリカ州
時間	5時間扱い	目標
参考資料	アイデアブック等	・アフリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて現れ方が異なることを理解させる。 ・地域でみられる地球的課題の要因や影響を多面的・多角的に考察・表現させる。 ・アフリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及させる。

期待できる学習効果

- ・産業と技術革新の基盤づくりが重要であることと理解する
- ・開発に向けた課題がアフリカには点在していることを理解する
- ・情報化やICT利活用がアフリカを含めた世界を変えていくことにつながることを理解する

授業内容

- アフリカ州を眺めて
 - サハラ砂漠の北と南
 - アフリカの歩み
- アフリカの産業と新たな開発
 - 産業の技術革新と基盤作り
 - 持続可能な生活と消費
- 開発に向けた課題
 - 貧困をなくす
 - 飢餓をゼロに
 - 質の高い教育をみんなに
 - 安全な水とトイレ
 - 情報化やICTの利活用
- すべての人に健康と福祉を
 - アフリカの子どもの置かれた状況
 - 病気・予防・治療・感染症
 - 健康保険証と母子手帳
- まとめ SDGs目標3について、多と関連させながら「自分の考え」をまとめる

子どもたちの反応・感想

- ・日本では、子どもたちは国や自治体に守られていることが理解できた。
- ・医療が発展している国や地域が、アフリカの開発途上国に医療品や予防接種、マスクなどを提供しなければならない。
- ・感染症を予防するために、そもそもの生活環境を改善しなければならないと思ったが、何から始めていいかわからない。
- ・世界で暮らす同じ人間なのに、地理的な配置や気候の違いで、こんなにも生活に差が生まれてしまうことを知った。
- ・SDGsの考え方が、世界と比較すると、日本では理解が進んでいないと思う。

SDGs17の目標と教科・領域との関連

久喜市立鷲宮中学校

私の私たちと家族

環 境		人 権		多文化理解
 目標6 安全な水とトイレ を世界中に 1年(社)アフリカ州 2年(理)気象とその変化 3年(社)これからの人権保障 3年(社)さまざまな国際問題	 目標13 気候変動に 具体的な対策 1年(社)アジア州 2年(理)気象とその変化 3年(国)作られた物語を超えて 2年(美)メッセージを伝える 3年(美)わかりやすく情報を伝える	 目標1 貧困をなくそう 1年(社)アフリカ州 2年(英)Mother Teresa	 目標4 質の高い教育 をみんなに 1年(社)アフリカ州 3年(社)人権と日本国憲法 2年(英)Reading1 English for International communication 2年(総)働く人から学ぼう 全学年(全教科・領域)すべての単元	 目標9 産業と技術革新 の基盤づくり 1年(社)アフリカ州 2年(総)働く人から学ぼう 3年(理)科学技術と人間 3年(技)これからの情報の技術
 目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 1年(社)南アメリカ州 2年(社)世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 2年(技)エネルギー資源の利用 2年(技)これからのエネルギー変換の技術 3年(社)さまざまな国際問題 3年(英)Energy and the Environment 3年(理)科学技術と人間	 目標14 海の豊かさを守ろう 2年(社)九州地方 2年(音)浜辺の歌 2年(技)さまざまな生物育成の技術 3年(社)これからの人権保障 3年(社)これからの経済と日本 3年(理)自然と人間 3年(技)これからの生物育成の技術	 目標2 飢餓をゼロに 1年(社)アフリカ州 2年(家)食品の選	 目標5 ジェンダー平等の実現 3と年保(存社)人権と共生社会 1年(家)わたし	 目標11 住み続けられるまちづくりを 1年(総)環境から学ぼう 3年(社)人権と共生社会 3年(社)これからの人権保障 た1年ち(と家)族住・まかい庭とと地地域域 3年(家)これから 2年(美)地域の魅力を伝える 3年(美)日本の世界文化遺産 3年(美)あかりがつくる空間
 目標12 持続可能な生活と消費 1年(社)アフリカ州 1年(美)材料に命を吹き込む 2年(社)九州地方 3年(社)現代社会の特色と私たち 2年(英)The 3Rs in Germany and Japan 3年(理)科学技術と人間 2年(家)環境に配慮した消費生活 2年(美)メッセージを伝える	 目標15 陸の豊かさを 守ろう 1年(社)南アメリカ州 1年(技)これからの材料と加工の技術 1年(美)文字で楽しく伝える 2年(技)さまざまな生物育成の技術 3年(英)Fly Away Home 3年(理)科学技術と人間 3年(技)これからの生物育成の技術 2年(美)メッセージを伝える	 目標3 すべての人に 健康と福祉 1年(社)アフリカ州 3年(社)これからの人権保障 1年(英)Reading2 Braille 1年(美)印象に残るシンボルマーク 2年(総)福祉から学ぼう 全学年(体)健康な生活と病気の予防 3年(美)わかりやすく情報を伝える	 目標8 経済成長と 人間らしい仕事 3年(社)日本の高度経済成長 3年(社)これからの経済と日本 2年(総)働く人から学ぼう 1年(美)印象に残るシンボルマーク 2年(美)地域の魅力を伝える	 目標16 平和で公正な 社会と行政 1年(国)大人になれなかった弟たち 2年(社)第二次世界大戦と日本 3年(社)人権と日本国憲法 3年(社)国際社会の仕組み 3年(英)The Diary of Anne Frank 3年(国)故郷 2年(美)メッセージを伝える 3年(美)ゲルニカ、明日への願い
			 目標10 人や国家間の 平等 1年(社)アセアニア州 3年(社)新たな時代と日本と世界 3年(社)人権と共生社会 3年(社)国際社会の仕組み 2年(総)日本の古都から学ぼう	 目標17 世界の協力の パートナーシップ 1年(社)世界各地の人々の生活と環境 3年(社)現代社会の特色と私たち 3年(社)これからの人権保障 3年(英)Speech-A Man's Life in Bhutan

世界の諸地域学習 旅行計画をつくろう（班発表）

学校名：専修大学松戸中学校 名前：大導寺宏昭

対象	中学1年	単元名
科目	社会(地理的分野)	世界の様々な地域(世界の諸地域)
時間	3～4時間	目標
参考資料	アイデアブック等	1 世界の諸地域について、班における調べ学習とグループで発表します。 2 調査内容は「世界遺産を巡る旅行計画」を作成し、地域におけるSDGsの取り組みについてまとめます。 3 発表を通して、地域の特徴、世界遺産、SDGsの具体的な内容を知り、理解を深めます。

期待できる学習効果

- ・1 SDGsの17の目標だけではなく、場合によっては、169のターゲットについてその具体的内容に気がつくことができる
- ・2 教材だけではなく、資料やweb情報から注目したい情報を集め、まとめる力が身につく
- ・3 世界遺産やSDGsを扱うことで、その位置を理解し、人間生活が自然や社会条件に影響を受けていることに気づき、理解を深めることができる。

授業内容

時数：4時間程度の調査時間に加え、3時間程度の発表時間を要した

①単元の説明及び班構成

班の構成

(1班が5名程度 1クラス8班構成)

(発表は1班が10分程度 1人2分程度の発表 必ず全員が発表する形式)

発表内容の確認(発表はパワーポイントやGoogleスライドを用いて発表)

旅行のキーワードとして、「世界遺産を訪問する」「訪問する地域のSDGsの取り組みを調査する」「旅行の期間は1週間程度で、日程やかかる費用を調査する」の3点を各班で分担して作成することとした。

②～⑤ 各班調査及び資料作成の時間

調査は、教材やインターネットを用いて調査を行った。スライドには写真を大きく、文字は少なくまとめることを原則とした。

⑥～⑧ 発表

発表の際には、Google Formを用いて、評価をし、発表した内容は自己評価を行った。

⑨振り返り

各自が評価した内容を共有し、振り返りとした。

世界の諸地域学習 旅行計画をつくろう（班発表）

学校名：専修大学松戸中学校 名前：大導寺宏昭

子どもたちの反応・感想

頂いた冊子の活用は、調査の際に活用している生徒がいた。
インターネットの検索ができるため、多くの生徒はwebから引用する方法で調査していた。
SDGsについては下のようなスライドを作成し、発表していた。
深い学びまではいわず、事例の紹介にとどまる内容が多かった。
頂いた冊子でいえば、
特に世界遺産が目標11に関連づいていることなどは冊子から気がつく生徒がいた。
旅行とSDGsを関連付けることはなかなか難しかったようで、苦労しながら関連付けていた様子であった。

バチカン市国



ギリシャのSDGs取り組み



海中のプラスチック



生物に影響

〈改善策〉



2017年
「イージアン・リ
ブレイス」を設立

My SDGs

学校名:佐賀大学教育学部附属中学校 名前:田中典子

対象	中学1年生	単元名
科目	英語科	Unit9 Think Globally, Act Locally
時間	11時間	目標
参考資料	教科書 アイデアブック インターネットなど	世界的な問題や地域の問題について, 発表スライドを作ってクラスメートや他者にメッセージを伝え, やりとりする。

期待できる学習効果

- ・アイデアブックを活用することによって, SDGsの17の項目を知り, 関心をもつことができる。

授業内容

- ・全11時間構成の1～4時間目では, 教科書の内容を扱い, 新出単語や文法の習得を目的とした。
- ・5時間目～11時間目までの内容で, アイデアブックを活用するなどして, SDGsに関する内容を取り扱った。具体的には, 次のように単元を構成した。

1、マッピングの作成

マッピングを作成する上で, 次の3つのポイントを示した。

- ①本当に自分が興味・関心があるものや他の人に知ってもらいたいことをテーマにする。
- ②キーワードや情報を簡単な英語(単語)でどんどん書く。
(興味を持った理由・場所・数値・原因・解決策・自分の考えや取り組みなど)
- ③聞き手が理解しやすいように, 数値や理由などを示す。
- ④マッピングを見てスピーチし, Q&Aを繰り返してより詳しいマッピングをつくる。

2、発表の要旨(原稿)の作成

評価の規準としてのルーブリックを次のように示した。

A	B	C
自分の問題として捉えたSDGsについて, 相手にその重要性を分かりやすく伝えるために, 関連事実や根拠などを示す文章を2文以上用いて表現することができる。	自分の問題として捉えたSDGsについて, 相手にその重要性を分かりやすく伝えるために, 関連事実や根拠などを示す文章を1文用いて表現することができる。	B未満

My SDGs

学校名:佐賀大学教育学部附属中学校 名前:田中典子

授業内容2

3、スライドの作成

発表原稿とあわせて、自身の発表を分かりやすく他者に伝えるための資料として、スライドを作成させた。

4、発表(県内のALTの先生が授業に参加)

9名のグループを4つ作り、そこに県内のALTの先生に参加していただく発表会を開催した。

なお、5時間目～11時間目までの、生徒の自己評価をする視点は、以下の通り示した。

- ①自分の問題として捉えたSDGsについて、行動宣言を書くことができた。
- ②それぞれのSDGs行動宣言について質問し合い、行動宣言を見直すことができた。
- ③自分の問題として捉えたMy SDGsの現状を伝えるために、マッピングを作成することができた。
- ④自分の問題として捉えたMy SDGsについて伝え、質問し合うことで思いや考えを見直す。
- ⑤自分の問題として捉えたMy SDGsを伝えるためのスライドを作成し、本番に向けて練習する。
- ⑥自分の問題として捉えたMy SDGsについて、現状と自分の思いや考えを伝える。
- ⑦My SDGsについて、現状と自分の思いや考えを作文に書き、自分の課題を知ることができた。
- ⑧Unit9でのパフォーマンス発表と次のパフォーマンス課題を関連付け、これからの見通しをもつことができた。

子どもたちの反応・感想

生徒の反応を以下のようにまとめた。

- ・SDGsに対する興味・関心や理解が全体的に深まった。
- ・実際にマッピングすることによって、自分の意見を整理することができた。
- ・アイデアブックを活用することによって、SDGsの項目をより詳しく知ることができた。
- ・SDGsの項目を詳しく知ることによって、本当に自分が伝えたい内容について吟味することができた。
- ・実際に他者に発表してみることによって、自分のマッピングを再度見直すことにつながり、マッピングをよりよくすることができた。
- ・外国人に英語で伝えるという貴重な経験をすることができて、英語の必要性を改めて実感した。

17のゴールについて考えよう

学校名: 京都共栄学園中学校 名前: 千葉 まなみ

対象	1年生	単元名
科目	特別活動	SDGs導入
時間	3時間	目標
参考資料	アイデアブック 別冊ターゲットと指標	その1 17のゴールを知る その2 世界の現状について自ら調べる その3

期待できる学習効果

- ・その1 身の回りにあるSDGsの取り組みについて興味をもつようになる
- ・その2 各ターゲットや指標までを確認させることで、目標の立て方や達成に向けてとるべき手段が学べる
- ・その3

授業内容

本校では、高校の総合的な探求の時間でSDGsをテーマに取り上げるため、中学部では導入だけにとどめ、その他の総合学習の際に引き合いに出せるよう、基本的な事項を確認した。

- ①SDGs 17のゴールについて、スライドを見ながら大まかに確認
- ②グループにわかれ、それぞれのゴールについて調べながら、並べ方(大切だと思う順、優先順位など)を考える
- ③理由と合わせて発表



17のゴールについて考えよう

学校名: 京都共栄学園中学校 名前: 千葉 まなみ

授業内容2



子どもたちの反応・感想

- ・この活動をして気付いたことは、1つの目標を達成したら他の目標も早く達成することができるということです。
- ・1つの目標を詳しく見ると、他の目標とも関連していることがわかりました。
- ・どの目標も大切なので順位をつけるのが難しかった。
- ・地球の未来は子供たちにかかっているなので、質の高い教育が一番大切だと思った。
- ・1つのゴールの下にはもっとたくさんの目標があったしとても細かかったので、達成するのに時間がかかりそうだと思いました。
- ・ゴール17は、他の16のゴールが達成できると自然に達成されると思った。
- ・どの順序にしてもより良い結果の裏側には一人ひとりの努力があってそれが積み重なっているんだと思いました。
- ・今回、班や人によって色々な考え方があって、このような意見の違いが世界でもあるから、SDGsの課題も生まれるのかなと思った。
- ・SDGsについて調べて、私たちの「普通」は幸せなんだと気づいた。

SDGsと学校生活 そして家庭へ、地域へ

学校名: 防府市立大道中学校 名前: 下松谷智江

対象	1年	単元名
科目	学級活動	SDGsについて復習をしよう
時間	2時間	目標
参考資料	アイデアブック等	その1 学校生活(委員会、係の活動)を通して達成できるゴールを考える その2 学校で達成できないゴールに気づく。 その3 それを達成するためには何ができるかを考える。 その4 地域、家庭との協力。自身が発信者となる。

期待できる学習効果

- ・その1 SDGsについて継続して考えることができるようになる。
- ・その2 世界の課題について自分ごととして考えることができるようになる。
- ・その3 中学生がSDGsについて自分ごととして考え行動することで、家族や地域に広めることができる。

授業内容

0. ゲームをとおして、現在の世界の課題について考える。

・それぞれの班はひとつの村です。村の中心には大きな池がひとつあります。池の中には魚が100匹います。村の人々は魚を捕って生活をしています。ひとつの村が1年間に生きていくために必要な魚の数は、ひとつの村につき最低、6匹です。池に残った魚は次の年に2倍になります。

- ・質問① 1年目、あなたの村では何匹魚を捕りますか??
- ・質問② 2年目、あなたの村では何匹魚を捕りますか??
- ・追加質問 「たくさんとれた村がより裕福になります。」

- ・ふりかえり このゲームは何を例えているか、考える。
魚＝資源、お金 魚がなくなるといことは??
全ての村が生き残るために必要なのは??

—村同士の約束事、何匹残っているか知る、魚の保存方法

SDGsと学校生活 そして家庭へ、地域へ

学校名: 防府市立大道中学校 名前: 下松谷智江

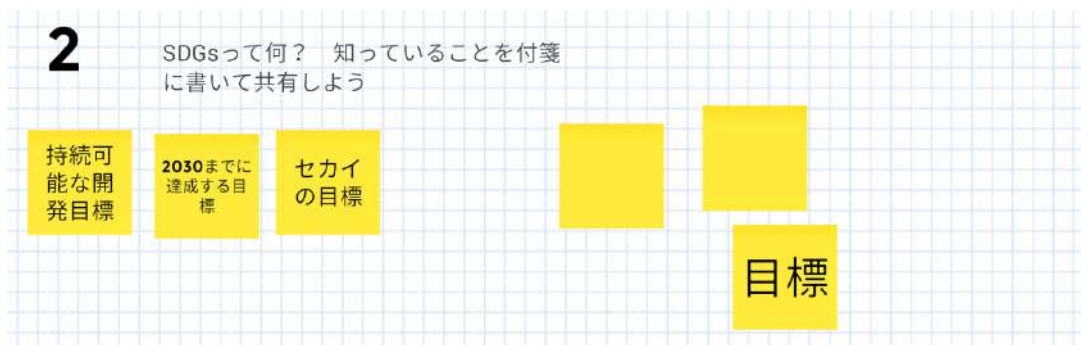
授業内容2

1. SDGsって何? 知っていることを付箋に書いて共有しよう。
—以下、班ごとにjam boardを使い、意見をまとめていく。
 2. 今自分がやっていること
 3. すでにとりくんでいること
 4. まだ取り組んでいないこと
 5. まだ取り組んでいないものについて、どんなことができるか考えよう→休憩
- ①学校 ②家庭 ③地域 — 個人で考える、班で考える、全体共有20分
6. ふりかえり

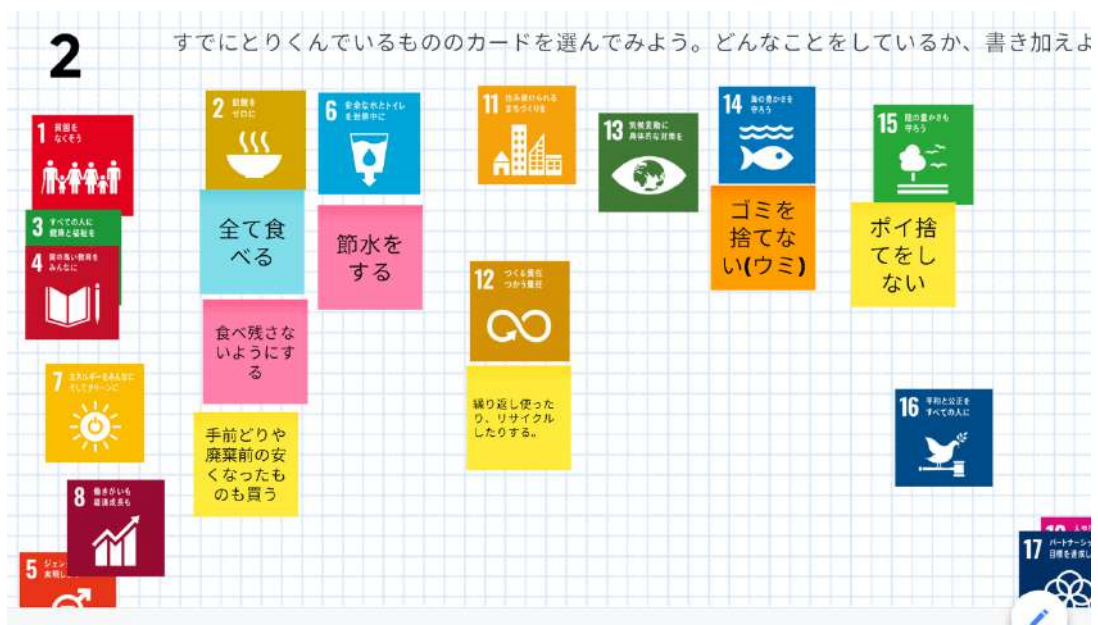
子どもたちの反応・感想

- ・各班のjam boardと子どもたちの感想を添付します。
- ・この授業は2月の授業参観で行いました。
- ・生徒は1学期に、SDGsすごろくを通してSDGsについて学習しています。
- ・そのふりかえりとして、自分たちに何ができるのかを考えてもらうための授業でしたが、前半で行ったゲームでの気づきが多く、そこに時間がかかってしまいました。
- ・「他の国を潰してしまう」=だから戦争が起こる、「魚を加工する」=国が豊かになるためには産業の発展が必要、「他の班が何匹とるか知りたい」=情報交換が大切、ということに気づくことができました。

資料① SDGs について知っていることを書き出そう。



資料② すでに取り組んでいることを書き出そう。



資料③ これから自分たちにできることを考えよう。



資料④ 生徒の感想 魚釣りゲームについて

あまり、案が出ませんでした	今日の授業で、それぞれの問題を解決する方法などを考えることができたのでこれからの生活に活かしたいです。	出来ていないものがわかってよかったです。これからは出来ていないものを積極的に取り組んでいきたいです。	自分なりに出来ることを探してしっかり出来るようにしたいと思います	課題に対して一人でどうにかしようとするんじゃなくて家庭や地域でやってみるといいなと思いました。	話の進行は上手にできたけど、もっと多く案を出せたと思います
2月5日(月) 15:49	2月5日(月) 15:49	2月5日(月) 15:50	2月5日(月) 15:50	2月5日(月) 15:50	2月5日(月) 15:50
SDGsのたあげつとを確認(知る)機会になった。	SDGsには世界的な問題がたくさんあったので驚きました。	結構達成されていない目標があって驚きました。	今回の授業で自分が何ができていないのか、何ができていないのかがよくわかったので、これからの生活に活かしていきたいと思います。	できていないことを増やせるようにしたいと思いました。	SDGsについていろんなことがわかったのでよかったです
2月5日(月) 15:50	2月5日(月) 15:51	2月5日(月) 15:51	2月5日(月) 15:51	2月5日(月) 15:51	2月5日(月) 15:51
sdgswasugokattadesu。。。?	SDGsについて自分でもできることがわかりました。	自分がしていたことがSDGsにつながっていたことが多くあったのでこれからもSDGsを心がけて行なっていきたいです。	改めて自分が出来ることを復習することができたので良かったです。	SDGsで自分たちや自分の家でできることを沢山知ることができました。	ふりかえり 普段生活している中で、SDGsを気にすることは無いけれど、今日の授業で考えてみると、意外と行っていることがわかりました。
2月5日(月) 15:52	2月5日(月) 15:52	2月5日(月) 15:52	2月5日(月) 15:53	2月5日(月) 15:53	2月5日(月) 15:53
SDGsについて再度学んで私たちに何ができるか、どうすれば達成できるかなどを考えた。	今回の授業で、自分の取り組んでいることや、これからどんなことをしたら良いかなどSDGsをもう一度考える良い機会になりました。また、今回の授業を踏まえて今までの取り組みを見つめ直し、先の未来を考えた行動をとっていきなと思っています。	今回の授業で、自分の取り組んでいることや、これからどんなことをしたら良いかなどSDGsをもう一度考える良い機会になりました。また、今回の授業を踏まえて今までの取り組みを見つめ直し、先の未来を考えた行動をとっていきなと思っています。	改めてSDGsの大切さがわかりました。2023年までに達成できるよう協力していきたいです。	SDGsをやっていること、やっていないものがあつたのでやっていないものをなくしていきたいです。	今まで取り組んでいた事をこれからはも続けるのは簡単かもしれないけど、また取り組めていないものと両立して取り組むのは大変だと思いました。
2月5日(月) 15:54	2月5日(月) 15:56	2月5日(月) 15:56	2月6日(火) 8:12	2月6日(火) 8:12	2月6日(火) 8:16
もっとあんなことができたんじゃないのかこんなことができたんじゃないかと思いました。					
2月6日(火) 8:38					

資料⑤ 生徒の感想 今日の授業について

世界って難しいなあって。	誰かが自分優先にしようとするとなかなかないだろうなと思いました	他の村が何回もやっているからわからずやってたのでオーバーしないうちからやりました。	意外というんな村のことを考えながら数考えるのは大変なことだということがわかりました。	魚釣りゲームは心強かったです。	世界で起きている様々なことを学ぶことができました。
2月5日(月) 15:55	2月5日(月) 15:55	2月5日(月) 15:55	2月6日(火) 8:14	2月6日(火) 8:14	2月6日(火) 8:14
できていないことを増やせるようにしたいと思いました。	よく考えてほしいという声が多く聞かれました。	魚釣りゲームはすごく難しいことがわかりました。	高くなることを知ったら97匹も取る村があってビックリしました。	いい感じに続いたので良かったです。	こうやって資源を取りあって、村同士での戦いが起きるのかな、と思いました。
2月6日(火) 8:15	2月6日(火) 8:15	2月6日(火) 8:17	2月6日(火) 8:17	2月6日(火) 8:20	2月6日(火) 8:20
魚釣りゲームをしてみて、物数が少ない必要なものの使い方を考えることができたので、良かったです。	自分の村が魚をたくさん取ると、他の村が魚を食べられなかったり、魚が絶滅するということを考えながら、魚を取る数を選びました。	コミュニケーションがないと六つの村が減ってしまったので、日本やアメリカなどの国々が条約を結び協力し合っている理由がより理解することができました。	あんなにすぐ絶滅すると思わなかったのでびっくりしました。先生が魚をいっぱい取れば国が豊かになるよとおっしゃったとき、絶対他の国が多くとって絶滅すると思いきや、他の国はたくさんとっていてもおかしいです。	自分たちは8〜12匹くらい獲ったけど最大10匹くらいでも良かったと思います。	これをして自分は一回村を一つ削ればと言うことが少し頭に入っていました。これがあることによって戦争が起きるんだと改めて感じました。
2月6日(火) 8:22	2月6日(火) 8:22	2月6日(火) 8:22	2月6日(火) 8:22	2月6日(火) 8:22	2月6日(火) 8:25
愚痴を言い始めることがあまりできませんでした。地球で資源を奪い合っていることは分かったけれど、これが何につながっているのかを理解することが自分には少し難しかったです。	数が多ければ福祉になるが少なくないと普通の暮らしのお話が難しかったです。				
2月6日(火) 8:36	2月6日(火) 8:36				

生徒会委員会活動

学校名:北杜市立 白州中学校 名前:望月 健太

対象	全学年	単元名
科目	生徒会活動	生徒会委員会活動
時間	時間を記載	目標
参考資料	アイデアブック	その1 私たちの委員会活動とSDGsのつながりを知ろう その2 中学生の私たちでも世界のためにできることを知ろう その3 調べたり考えたりしたことを実行に移そう

期待できる学習効果

- ・その1 SDGsについて知ることができる
- ・その2 SDGsを身近に感じることができる
- ・その3 SDGsの目標達成に向け、実行力を養うことができる

授業内容

SDGsについて、まずは生徒たちが自分事としてとらえることができるようにすることを大切にしたい。SDGsについて調べたりまとめたりすることで、知識を蓄えることはできるが、具体的な行動に移したり、自ら関わろうとする実行力を養えないと考えられるからである。

そこで、自分たちにとって身近な取り組みである生徒会委員会活動に注目し、自分たちが普段行っている活動とSDGsにどのようなかかわりがあるか考えることから取り組みをはじめた。アイデアブックを活用し、委員会ごとにSDGsとのかかわりを見出したことで「中学生の私たちにもできることがあるんだ」という実感をわかせることができたと同時に、SDGsをより身近なものに感じさせることができたのではないかと感じた。

一年間の生徒会活動を振り返る生徒総会の中でも、委員会活動とSDGsのかかわりを前向きに捉える意見が多くあり、SDGsの目標達成に向け、全校で意識的に取り組むことができた。

SDGsについて知ろう！

学校名：東京都立八王子東特別支援学校 名前：遠藤 遥

対象	中学部3年	単元名
科目	道徳的な学習の時間	海とストロー
時間	5時間	目標
参考資料	SDGsすごろく、 SDGsアイデアブック、 SDGsの書籍、教科書	その1 物語を通して、人間と自然との関わりについて考えを深め、進んで自然環境を大切にしようとする実践意欲を育てる。 その2 SDGsについて知り、今の世界の状況について知る。 その3 SDGsについて知り、自分のできることは何かを考え、実践する。

期待できる学習効果

- ・その1 SDGSについて知ることができる。
- ・その2 SDGSについて知ること、世界の現状について知ることができる。
- ・その3 いま、自分にできることは何かを考え実践することで、世界のために役に立てることを知る。

授業内容①

○「海とストロー」の題材をもとに、自然を大切にすることはどういうことかを考えさせた。

・「紙ごみとプラスチックはいつも分別しているのにそれだけじゃだめなの？」という葉月の言葉にはどのような考えが表れているのだろうか。

・主人公は「海中に潜む「マイクロプラスチック」の脅威から海を守ろう」の広報誌を読んで、どんなことを考えたのだろうか。

以上2点について考えさせた。

②「海とストロー」次ページの「つなげよう持続可能な開発目標SDGsについて知ろう」を読み、「SDGsってなんだろう」、「SDGs目標1～17」の等の動画を見て持続可能な開発目標SDGs目標について詳しく知ることができた。

そのあと更に理解を深めるために、SDGsすごろくで持続可能な開発目標SDGs1～17の詳しい内容をクイズ形式で答えながら楽しく学んでいくことができた。

SDGs開発目標の理解をしたあと、自分がしていること、家族がしている取り組みについてインタビューしてもらった。その中で、父の職場でも、目標15を取り入れているや母が、ごみの分別やスーパーに行くときはエコバックを持っている等を知ることができた。これからも続けていくことや、自分にもできること、心掛けていくことを決めて、実践していくことができた。

SDGsについて知ろう！

学校名：東京都立八王子東特別支援学校 名前：遠藤 遥

授業内容2

現在、学校内の皆にもSDGsを知ってもらいたいと本人から発信があった。どのようにしたら、伝えられるかを考えた結果、授業で取り組んでいる内容や実際に使用した書籍や教材を、ライブラリーに展示することで、学校内の皆に伝えられるようにした。

また、「学校内で行われているSDGsの取り組み」や「今後学校として取り組める内容等」を考えて、発信しようと考えている。



子どもたちの反応・感想

- ・SDGsという言葉は聞いたことがあるけれど、実際にはどのような内容なのか知らなかったの
で、詳しくしることができて、良かった。
- ・こんなに世界の中で大変な状況におかれている人がいることを初めて知った。
- ・毎日ご飯を食べられることができて、学校に通えていることが幸せであるということありがたい
ことだと感じた。
- ・毎日給食や家でのご飯も残さず食べているが、これからも続けていこうと思った。
- ・水の出っぱなしをしない等自分が、少し心掛けることで世界が良くなること、世界を救えること
を知った。
- ・もっとみんなに、今の世界の状況とSDGsについて伝えたい。
- ・「SDGsは、すごろく」は楽しみながらSDGsについて
学べることができた。

